



祝

# 日本赤十字新労働組合連合会 結成40周年記念式典を挙行



多くのご来賓、ご招待者等をお迎えし、盛大に挙行された記念式典

「21世紀にはばたく  
日赤新労」を掲げて

去る二月二十六日(月)、愛知県豊橋市の「ホテル日航豊橋」において、日本赤十字新労働組合連合会結成40周年記念式典並びに記念祝賀会が盛大に挙行された。式典は、ホリディ・シアターAを会場に多くの来賓、招待者の方々にご臨席いただき、厳粛な中にも溌剌なく、無事終了した。祝賀会も、加盟単組の協力もあって華やかな盛り上がりを見せ、参加者等は一時の祝いの美酒に酔いしれた。また、参加者等には、40周年を記念して作成された記念誌「40年のあゆみ」が配布された。

記念式典は、まず、これまでの日赤新労の歩んできた想い出の一コマを紹介する意味で、120枚のスライド上映に始まった。石川中央執行委員のナレーションにより、スクリーンには昭和四十年代の決起大会の様子を映し出された。

そして地元名古屋第一日赤の森中央執行委員の司会進行により開式の辞が告げられ、坂本中央書記長が肅粛と開式の言葉を述べた。

子をはじめ、歴代本部員等の懐かしい顔が映し出された。

静まりかえった緊張感のままの会場で、次のように挨拶の言葉を述べた。

「新世紀の幕開けとなる

記念すべき年に、日赤新労

結成40周年記念式典を挙

行できることは、無上の喜

びであり光榮に思う次第です。昭和三十年代、「職場

を感じています。

はなくなつても労働組合は

存続する」として組合運動

が先鋭化する中、自分たち

の職場を守り、民主的な組

合運営と健全なる労使協調

体制を確立するため、昭和

三十六年九月三日に日本赤

十字新労働組合連合会は二

重原伊勢市の神宮会館にて

産声を上げました。

結成当初、小崎寿美男初代執行委員長は専従役員と

なられ、全国の仲間を結集

すべくまさに全国行脚をさ

れ、組織づくりに尽力され

ました。本社交渉において

は、現在の賃金体系が築か

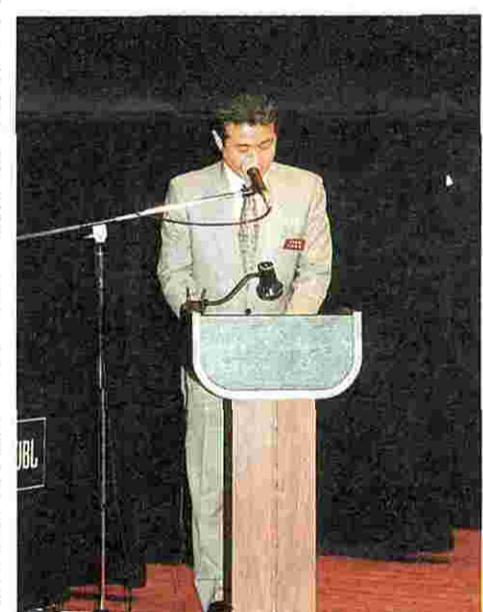
れたのがこの年であり、今

更ながら、先輩諸氏のご苦

労に深甚なる敬意の念を覚えます。

この四〇年間、私たちの活動は広く日本赤十字社職員の賛同を得、確実に発展しています。しかし、バブル崩壊後の労働者を取り巻く環境は非常に厳しくなっており、組合員数の減少という、まさに労働組合の存在が問われる時代となっています。幸い日本赤新労は年々組合員数も増加しており、ますます果たすべき

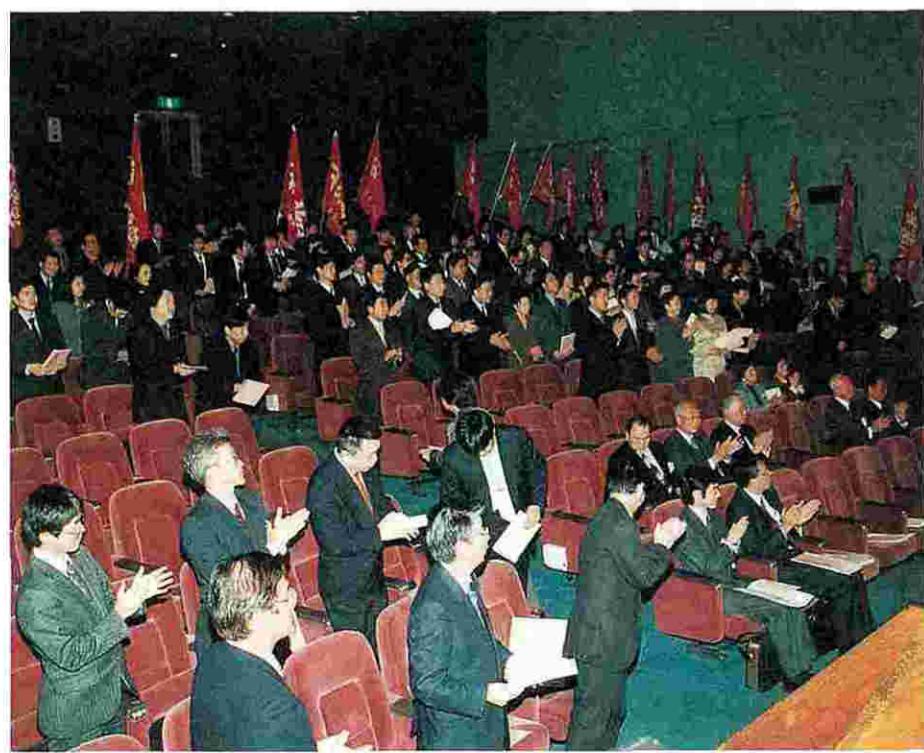
新労働組合連合会結成40周年記念式典は、ホリディ・シアターAを会場に多くの来賓、招待者の方々にご臨席いただき、厳粛な中にも溌剌なく、無事終了した。祝賀会も、加盟単組の協力もあって華やかな盛り上がりを見せ、参加者等は一時の祝いの美酒に酔いしれた。また、参加者等には、40周年を記念して作成された記念誌「40年のあゆみ」が配布された。



記念式典は厳粛な中に進行された



私たちの運動の原点は、  
「新世紀の幕開けとなる  
記念すべき年に、日赤新労  
結成40周年記念式典を挙  
行できることは、無上の喜  
びであり光榮に思う次第で  
役割は大きくなっていると  
感じています。  
はなくなつても労働組合は  
存続する」として組合運動  
が先鋭化する中、自分たち  
の職場を守り、民主的な組  
合運営と健全なる労使協調  
体制を確立するため、昭和  
三十六年九月三日に日本赤  
十字新労働組合連合会は二  
重原伊勢市の神宮会館にて  
産声を上げました。  
結成当初、小崎寿美男初代執行委員長は専従役員と  
なられ、全国の仲間を結集  
すべくまさに全国行脚をさ  
れ、組織づくりに尽力され  
ました。本社交渉において  
は、現在の賃金体系が築か  
れたのがこの年であり、今  
更ながら、先輩諸氏のご苦  
労に深甚なる敬意の念を覚え  
ます。



各単組から持ち込まれた組合旗が会場の雰囲気を盛り上げた



度思い出し、新たな出発を  
したいと思います。  
皆様には、今後ともな  
げます。」

お層のご支援とご協力を  
賜りますようお願い申し上  
げます。

最後に、組合員全員の起  
立のもと、ステージには盛  
岡日赤の中村友子さんの歌  
声も高らかに労働歌が齊唱  
され、盛会の中にプログラム  
もすべて終了し、閉会が宣  
言された。

続いて、ご来臨いただ  
た日本赤十字社総務局人事  
部長の佐々木典夫氏、日赤  
新労前中央執行委員長の梅  
村正一氏、愛知県支部長代  
理の橋本元成事務局長の三  
氏からご祝辞を頂戴した。  
ご来賓、ご招待者一四名  
の紹介の後、全国各地から  
寄せられた祝電の披露がな  
され、さらに長年にわたり  
日赤新労の中央執行役員を  
務めていただいた三名と中  
央委員を務めていたいた  
七名に、感謝状と記念品が  
贈呈された。

最後に、組合員全員の起  
立のもと、ステージには盛  
岡日赤の中村友子さんの歌  
声も高らかに労働歌が齊唱  
され、盛会の中にプログラム  
もすべて終了し、閉会が宣  
言された。

愛知県赤十字血液センター		(感謝状贈呈者)	
所長	小澤 和郎様	一本部役員として	—
愛知県豊橋赤十字血液セン	梅村 正一様(元名「日赤」)	樹下 成徳様(大津日赤)	
ター所長	富田 忠雄様	柏谷 幸司様(愛知血セ)	
日本赤十字社総務局人事部	佐賀 克己様(徳島血セ)	——中央委員として—	
職員課長	山口 繁様	西村 和典様(大津日赤)	
日本赤十字社総務局人事部	直樹様	武郷 敬様(三原日赤)	
〔乙〕招待者		飯田 幹雄様(元岡山日赤)	
第三代中央執行委員長	服部 育男様(名曰赤)		
川出 富治様	小寺 悟様(鳥取日赤)		
第四代中央執行委員長	峯 徹次様(福島日赤)		
川 島 亮 介 様			



## 祝賀会も盛大に開催

記念式典に引き続き、五時三〇分からはホリディ・ホールCにて記念祝賀会が開催された。

川島中央副執行委員長の  
辺中央副執行委員長の開会式  
の言葉、浜崎中央執行委員  
長の挨拶と続き、式次第に  
従つて鏡割りの準備がなさ  
れた。

舞台には、名古屋第一赤の渡邊院長、名古屋第一液センターの小澤所長、豊橋血液センターの富田所長の四氏にご登壇いただき、ありがとうございました。祝辞を頂戴した後、浜崎中央執行委員長を中央に据え、掛け声とともに祝い樽に木槌が振り下された。



中央執行委員長として活躍された川出富治氏よりご発声いただき、祝宴に入った。

一〇名で取り組む各円卓には、次々と手際よく料理が運ばれ、ふんだんに用意されたビール片手にテープル巡りをして懇親を深める組員等の姿が見られた。また、招待者の方々からも心に残るテーブルスピーチをいただき、懐かしい時代を振り返り、暫し想い出にふける出席者も見られた。

今回の式典・祝賀会には本部たつてのお願いで、盛岡赤より“みちのくの歌姫”中村友子さんとご協力いただき、式典の労働歌齊唱に引き続き、祝賀会でもまた素晴らしいノドをご披露いただいた。プロ顔負けの歌声に、会場の全員が魅

宴もたけなわとなつた是中、無情にも終了の時間になりました。しかし会場には、名残を惜しむ組員等が、つまでも語り合つ姿や、娘の記念写真を撮る姿があり、あちこちに見られた。

\*

最後に、初代執行委員長である小崎寿美男氏（元田口赤）から寄せられたお祝いの言葉をここに記しておきます。

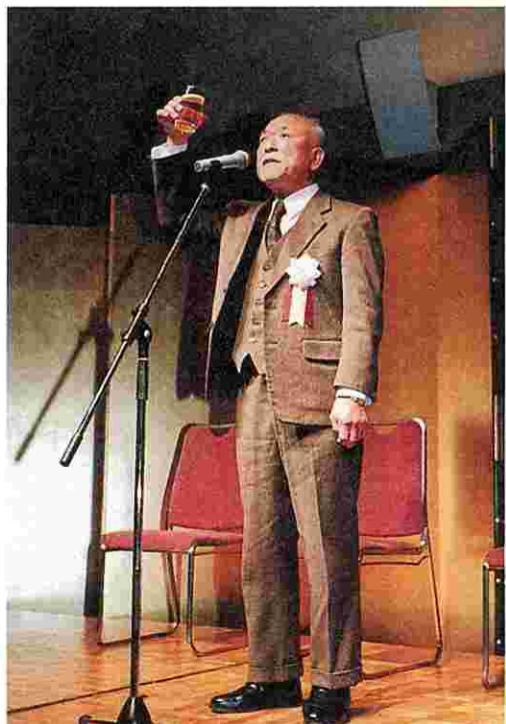
『お祝いのことば』

もう、四〇年も経つたのですが、まったく感無量です。

ここ伊勢の地で、「親



男性は全員スーツ姿のあらたまつた姿でも  
雰囲気は和やかムードの祝賀会



祝杯のグラスを掲げゆ川出富治氏

